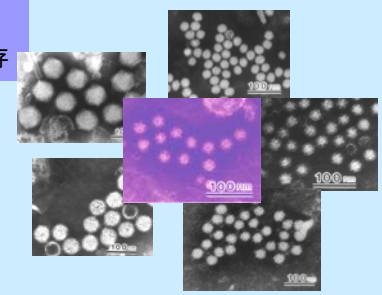


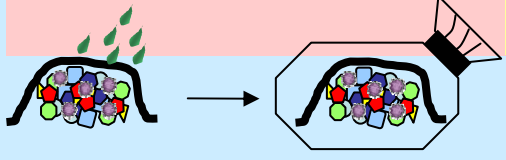
# ノロウイルスなどの消化器症状を呈するウイルスの消毒

ウイルス	ノロウイルス	サボウイルス	アストロウイルス	ロタウイルス	アデノウイルス	アイチウイルス	A型肝炎ウイルス	E型肝炎ウイルス
群, 血清型など	遺伝子グループ, II,IV	遺伝子グループ,II,IV,V	1~8型	A群, C群	40型, 41型			
主な感染経路	糞口感染 人→人感染 食中毒	糞口感染 人→人感染 食中毒	糞口感染 人→人感染	糞口感染 人→人感染	糞口感染 人→人感染	糞口感染 食中毒	糞口感染 人→人感染 食中毒	糞口感染 人→人感染 動物肉からの感染 シカ, イニシシ
主な診断法	RT-PCR イムノクロマト 酵素抗体(ELISA)法 電子顕微鏡法	RT-PCR 電子顕微鏡法	RT-PCR 電子顕微鏡法	A群 イムノクロマト ELISA RT-PCR 電子顕微鏡法 C群 赤血球凝集反応 RT-PCR 電子顕微鏡法	ELISA PCR 電子顕微鏡法	RT-PCR	RT-PCR 抗体検出	RT-PCR 抗体検出

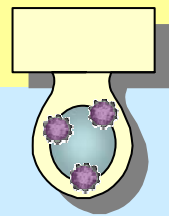
**ノロウイルス**  
 ・通常24-48時間で発症  
 ・100万~10億個/gを排泄  
 ・症状が改善しても1週間以上排泄  
 ・4°Cで2ヶ月, 20°Cで3~4週間生存



- 吐物及び排泄物の処理**
- ① 使い捨て手袋, マスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② ペーパータオルあるいは新聞紙で吐物等を覆う
  - ③ 塩素系消毒剤を原液のまま, たっぷりかける
  - ④ ペーパータオルあるいは新聞紙で包み込むように吐物等を取り, ビニール袋に入れ, 口を縛る
  - ⑤ 吐物等のあった場所(床)を1000ppm(0.1%)の塩素系消毒剤で清拭し, 水拭する
  - ⑥ 手袋等を外し, 手洗いをする



- 便器に飛散した便の処理**
- ① 使い捨て手袋, マスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② 1000ppm(0.1%)の塩素系消毒剤を十分に散布する→30分間位放置し, 水洗する(必要に応じて, 塩素剤を含ませたトイレトペーパーなどで清拭する)
  - ③ 手袋等を外し, 手洗いをする



- ドアノブ, 器具, おもちゃなどの処理**
- ① 使い捨て手袋, 必要に応じてマスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② 200ppm(0.02%)の塩素系消毒剤を染み込ませたペーパータオルあるいは布で清拭する
  - ③ 水拭きする
  - ④ 手袋等を外し, 手洗いをする

- 衣服, リネン類などの処理**
- ① 使い捨て手袋, 必要に応じてマスク, プラスチックエプロンを装着する
  - ② 1000ppm(0.1%)の塩素系消毒剤に10分以上又は200ppm(0.02%)に30-60分間→水洗する
  - ③ 手袋等を外し, 手洗いをする

加熱可能なもの: 煮沸消毒(85°C 1分間, 80°C 10分間以上)  
 カーペット: スチームアイロン 1ヶ所2分間以上

濃度	家庭用漂白剤 (原液濃度5%)	ピューラックス (6%)	ミルトン (1%)
1000ppm (0.1%)	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ10杯
200ppm (0.02%)	ペットボトル(2L)に キャップ2杯	ペットボトル(2L)に キャップ2杯	ペットボトル(500ml)に キャップ2杯

A(ppm)の消毒液をB(リットル)作るときの次亜塩素酸ナトリウム溶液(C%溶液)の必要量X(ml)

$$X(ml) = A(ppm) \times B(リットル) \div C(\%) \div 10$$

用事調整が原則, 調整後は暗所

**石ケンと流水による手洗いが最も有効**  
 (病原ウイルス除去効果試験)  
 ノースカロライナ大学のEmily E. Sickbert-Bennettらは, 手洗い用製剤比較調査を行い, 病原ウイルスの除去効果は, 石ケンと流水による手洗いが最も有効とした。  
 American Journal of Infection Control, 33, 67-77, 2005

**洗い不十分**

- ・指間
- ・指先
- ・親指

**手洗い**  
 石ケン+流水 30秒以上

